

暑い夏がきました。学校は夏休みにやっと入りました。夏休みは一年中で一番楽しい季節の
はずですが、気候も景気もどうもぱっとしません。とはいえ、暑い夏に何か一つ集中して取り
組むのも大事。ネットワークでは一年の活動の山場である夏の経済教室がはじまります。各地
の先生方との熱い交流も夏の醍醐味かもしれません。今月もネットワークの活動の報告とこれ
からの予定をお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

7月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

夏休みの経済教室関係のお知らせと今後の活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 京都部会（第 15 回）を開催しました。

7月 27 日（金） 19:00 ～21:00、同志社大学光塩館 2F 第 2 共同研究室で第 15 回の京都部
会を開催しました。

当日は篠原代表の報告、夏の経済教室の準備状況、入試問題の検討などが話し合われました。
内容の詳細はまとも次第 HP に掲載いたします。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。また、夏の経済教室の最新の情報を掲載します。

■ 夏の経済教室がはじまります。

8月 2 日から各地で夏の経済教室を開催します。今年のはじめて広島に伺います。

日程と主な内容は以下の通りです。余裕のある会場もありますので、ご都合が付く先生、関
心のある先生にはお声をおかけください。

広島	2 日（木）	高校対象、3 日（金）	中学対象
大阪	6 日（月）	中学対象、7 日（火）	高校対象
名古屋	8 日（水）	中学対象、9 日（木）	高校対象
東京高校	16 日（木）	17 日（金）	
東京中学	20 日（月）	21 日（火）	

今年も中学新学習指導要領の実施を踏まえての講義、法教育と経済教育の対話、国民所得に関する講義、入試問題を通じた経済の講義、大竹文雄先生、福田慎一先生、柳川範之先生、松井彰彦先生の講演など多彩な内容を用意しています。また、中学の先生方対象の教室では実践紹介や先生方との交流の時間なども設けてありますので、ご期待ください。

■札幌部会 (No.4)を開催します

日時：2012年9月1日(土) 14時30分～16時30分

場所：キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55ビル5階)

内容、参加方法など詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo004flyerR.pdf>

■東京部会 (No.51)を開催します

日時：2012年9月25日(火) 19時00分～21時00分

場所：未定

内容は、夏の経済教室の総括、教材の検討などです。参加方法は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo051flyer.pdf>

■この夏の関連団体の動き (既報)

(1)金融広報中央委員会「第9回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」のご案内

第9回金融教育に関する小論文・実践報告コンクールを実施しています。

募集要項は以下のURLをご覧ください。

<http://www.ron2012.jp/tc.pdf>にあります。先生方、生徒の積極的な応募を期待しています。

(2)「NRI 学生小論文コンテスト」を応援しています。

野村総合研究所が毎年開催している「NRI 小論文コンテスト」が本年度も実施されています。

コンテストの内容、応募方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.nri.co.jp/publicity/contest/index.html>

(3)第28回授業のネタ研究会 IN 関西 (2012/08/26)

詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/28th%20neta20120826.pdf>

【 3 】授業のヒント

「カタログの活用」

夏休みはすでにはじまり、少々出遅れですが生徒に本を読ませる取り組みのすすめです。

それはカタログを生徒に持たせることです。例えば、岩波文庫の解説目録や岩波新書の解説目録を生徒にもたせ、このなかから長期休業や場合によっては一年に何冊と指定して読書感想文を書かせるという取り組みはどうか。

もちろん、新潮社でも筑摩書房でも結構。肝心なのは、生徒全員に一冊カタログを渡すこと

です。

岩波文庫の社会科学分野の本は難しいかもしれませんが、哲学や文学作品だったら中高生でも読める本は必ず見つかるはず。経済分野だったら新書がおすすめです。これなら受験の小論文対応の読書でも十分に役立つ内容が網羅されています。

カタログの良さは全体が見通せることです。ジャンル別に分類された内容を見渡し、かつ簡潔な内容の紹介を読むだけでも大いに勉強になります。見ただけでおなかがいっぱいになってもう読めないという生徒も出てくるかもしれませんが、それはご愛嬌。各出版社にお願いすると生徒分を送ってもらえるはず。生徒に渡す前に先生方も最新版を手に入れ、自分の読書計画を立ててみることをお勧めします。(新井)

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

自分が高校生だった時にどんな経済教育を受けてきたかに関心をもち、このところ古い教科書をひっくり返しています。きっかけは妻の実家に彼女が高校生だった時の教科書が残っていたことです。それが私も使った教科書だったので懐かしさのあまり読んでいろいろ感じました。

その時の指導要領、教科書の実態などを知りたいと思い、教科書図書館にでかけました。教科書図書館は、教科書協会がお金をだして設立した図書館で、東京の江東区にあります。そこでは、これまで発行された日本のほとんどの教科書を読むことができます。いろいろな当時の「政治・経済」の教科書を読み比べて発見すること、例えばカードの比較生産費説の数値例はまったく登場していないことなど、がありました。教科書に関連して、当時の経済学者の書いた本を古本屋で探し出し、経済予測の「あたり」「はずれ」を楽しんでもいます。現役をはなれたからできる余暇かもしれません。

先生方も自分の時代の教科書があったら、手に取ってみるとよいと思います。きっと何かが発見できるのではと思います。教育学部のある大学の図書館ならかならず教科書の収集はしているはず。 (新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====
◆◇

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇◆◇ —————